



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 FAX 045-571-3834

ホセ・アントニオ・デオリ文化科学担当参事官 横浜訪問

1月9日（月）スペイン大使館：ハビエル・サンチェス

案内：（大栈橋国際客船ターミナル）大塚仁司

（横浜スペイン協会）問屋正勝、山田るり子、武菱邦夫

スペイン大使館の文化・科学参事官に昨年8月末ホセ・A・デオリ参事官が、着任されました。着任後、日本各地のスペイン協会や関連団体との協力関係を築いていくために各地に出向いて交流を図っています。今回は1月9日に、横浜スペイン協会を訪問されました。当日は、初めに横浜美術館、その後大栈橋に於いて私どもと合流し大栈橋見学や横浜市内散策、スペイン音楽国際コンクールへの出席等大変忙しいスケジュールでした。横浜港大栈橋の設計は、国際設計コンペによりスペインの建築家アレハンドラなどにより設計が行われたことなどもあり、大栈橋の見学には大変興味を持たれ柱の少ない大きなホールや、それを形作る柱や梁などの建築構造の仕組み、周辺の景観を配慮したデザイン、クイーンの塔などの周辺の施設や環境にも興味をもたれていました。その中で横浜港ベイブリッジ（サスペンション構造）について、日射し等による橋への熱膨張に対する対策方法などについても大変興味を示され、文化・科学両面について幅広い視野を持たれていました。その後、横浜中心部を散策する中で、参事官の希望でホテルニューグランドの本館を訪ね、そこで港が目の前に広がるサロンを訪ねました。なぜそこを訪れたのか？私たちは始めわかりませんでした。実はその場所は、マッカーサーが厚木に降り立ち（8月30日）横浜に向かい、初めにこの場所で執務と宿泊を行った場所GHQだったのでした。その後GHQは、横浜税関（クイーンの塔）に移りその後東京へ（9月17日）移りました。私たちが気づかなかった横浜の歴史がそこにありました。その後、成人式でにぎわう中華街で協会の理事4名も加わり食事を行いました。時間が大分遅れ忙しい昼食となりましたが、皆さんで楽しくなごやかな時を過ごしました。その後第1回スペイン音楽国際コンクールの受賞者演奏会（主催日本スペイン音楽協会 於：神奈川県民小ホール）に出



席され演奏会を楽しまれ、忙しい1日を過ごし、再会を楽しみにして横浜の訪問を終えられました。美術館から始まり、建築、科学、歴史、音楽と幅広く交流された今回の参事官の訪問がスペインと日本の文化交流の一つとなり、今後もこのような交流をより深めていこうと考えています。（武菱邦夫）

● 対外交流活動

名古屋スペイン協会「日本・スペイン交流懇親会」に参加して

2016.12.15 於名古屋名鉄グランドホテル

国内各地のスペイン協会との交流の第二弾として、名古屋で行われた日本・スペイン交流懇親会に下山会長と出席して参りました。主催の名古屋スペイン協会は30周年を迎え、会場には在日スペイン大使館よりセルヒオ・コリナ・マルティン領事はじめ、山本亜土在名古屋スペイン国名誉領事、ミカエル・カルマノ南山大学学長、NHKスペイン語講座で講師を務めた江澤照美さんなどそうそうたる顔ぶれが揃いました。また、若い人たちも見受けられましたが、学生会員とのことで、名古屋スペイン協会の層の厚みを感じました。石黒会長のご挨拶で始まり、下山会長と私も来賓として紹介され、当協会の活動についてスピーチさせていただきました。さらに、スペシャルゲストとして今年「からくり人形スペイン公演」を行った九代玉屋庄兵衛さんによる「からくり人形演技」が披露されました。ベネンシアドールによるシェリー、名古屋ならではの櫃まぶし風パエージャなどのおいしいスペイン料理を味わいながら日本とスペイン、名古屋と横浜の交流を深める事ができました。(臼井慎一)



● 新年親睦パーティー

2月4日土曜日、今年も恒例の新年親睦パーティーが横浜の港の見える丘公園にある、ポートヒル横浜にて開催されました。初参加の方が多く、楽しかった会の感想をお寄せくださいました。

- * 一月にスペイン語ヒラソルクラスに入ると同時に横浜スペイン協会に入会させていただきました岩田岳久と申します。パーティーではギター演奏に合わせたダンス、合唱など盛りだくさんの演目をいきいきと楽しまれている様子に感動しました。皆さん本当にスペインが好きなんですね。私も吹き矢ゲームで3等賞をいただく幸運にも恵まれ、大変楽しい時間を過ごせました。会場では同じ時期にスペインに駐在されていた方と現地の懐かしい話をさせていただくこともできましたので、これから様々な協会のイベントに参加させていただければと思っています。(岩田岳久)
- * なんとと言ってもカブラレス氏のギターと歌が素晴らしく、昨年と比べても秀逸で、心が揺さぶられ、芸術家として一回り大きくなられたのかなと、。また、フラメンコでは、ほとぼしる情念に圧倒され、日本琴の演奏では、落ち着いた趣に浸り、お楽しみゲームでは「吹き矢」が、なかなか当たらず、場は思いのほか盛り上がり、と様々な景色・雰囲気を感じながら、美味しい食事とワインに舌鼓を打つことが出来、大変愉しめました。最後に、運営に関わられた方々のご苦勞に感謝します。(堤 紀男)
- * 私は今、最高に楽しい人生を送っています。それは横浜スペイン協会に入ったお陰です。アマポーラクラスもclub2020もいい人ばかり。その協会の新年会で琴の演奏をさせていただくことになりました。1曲目は私が息子と共同作曲した「蝶の戯れ」と言う器楽曲。2曲目は、トリオ・ロス・パンチョスのナンバーから「ある恋の物語」を琴に編曲して、3人で演奏しました。ギター演奏にフラメンコ、合唱、吹き矢大会など、楽しいひと時を過ごすこと

ができましたが、その準備、進行、後始末などに携わってくれた理事、役員の皆様のお陰と感謝しています。今後とも、よろしくお願いいたします。(池田昭一)

* 遠い海の向こうから渡ってきた異国の文化に想いを馳せるにふさわしく、青く晴れた埠頭を見下ろすホテルの一室で開かれた新年会。琴の演奏、ゲームにダンスタイム、そしてラテンの空気溢れるカブレラスさんの弾き語りなど、肩の凝らないプログラムは春らしい明るい会でした。私はスペイン語クラスに在籍した縁で踊らせて頂きましたが、日頃より会員の皆様のスペインに対する愛情と知識には驚かされております。民間のこうした小さな催しの積み重ねが国際理解を確かなものにしていくのでしょうか。地道に運営される方々に心より労いの念を抱いた一日でした。(北見淳子)



お琴の演奏池田さん



フラメンコ北見さん カブレラスさんの歌



吹き矢大会 優勝2位3位の皆さん



名古屋スペイン協会から竹下さん



シネマサロンでおなじみ松本さん



新入会員の皆さん



歌って～



理事の皆さん ご苦労さん



踊って～

～～～下山会長 マドリッド訪問～～～



2017.3.11 マドリッド

昨年4月に会長就任してから、もっとスペインを知りたいという衝動にかられ、3月中旬にマドリッドを訪問しました。現地では、以前駐日スペイン大使館に勤務され、協会が大変お世話になった小原京子さんのお宅にお招き頂いた際に、ファン レニャ元駐日スペイン大使ご夫妻にお会いする事が出来ました。レニャ元大使は当協会の名誉会長であったのみならず、約35年前に当協会設立の礎となった「横浜市港南区ひまわり親善国際交流協会」の設立時には、初代会長であった亡き父と共に一等書記官として多大なるご尽力下さいました。私がレニャ氏とお目にかかるのは、1999年、父のイザベル女王勲章十字型章授与式にスペイン大使館を訪問した時以来、18年ぶりでした。このような長い月日が経過していたにもかかわらず、レニャ氏は父との思い出話を懐かしそうにされ、そして、また、当協会の近況に関してとてもご興味を示され、26周年を迎えたとの報告に大変喜んでおられました。また、会員の皆様の絶え間ない日西文化交流活動に対し、心から敬意をはらいたいとお言葉をいただきました。私もこのお言葉にとっても勇気づけられました。(下山利明)

～～～ とつかお結び広場に参加して ～～～

戸塚区や横浜市をベースに活動するボランティア団体を紹介するイベント「とつかお結び広場」に協会として初めて参加しました。今年で6回目となるこのイベントは一日限りではありますが、140余りの団体が参加、毎年600～700人くらいの来場者があるそうです。パネル展示のほか、体験や実演、即売などがあり、まるで学園祭のような賑やかで楽しい雰囲気です。特に各団体のシニア層の方の元気さには圧倒されました。当協会も「旅でスペインを識ろう会」のパネルを展示、カラフルで写真満載のパネルは目を引き、たくさんの来場者とお話も出来、スペインと当協会のことを多少でも知っていただけたのではないかと思います。(臼井慎一)

2016. 12. 4 於戸塚区役所



●スペイン語クラス

今回は創立20周年を迎えた「新聞・雑誌を読むクラス」の特集です。このクラスの開設以来20年間、弛まぬ熱意を以てご指導下さった栗山由美子講師に御礼申し上げますと共に、これからも宜しくご指導下さるようお願い申し上げる次第でございます。

「スペイン語で新聞・雑誌を読むクラス」

毎月第4土曜日 10:15～11:45 海岸通り教室(波止場会館)

『新聞』クラス、創立20周年によせて

1997年4月開始の『スペイン語で新聞・雑誌を読む会』は、今年2017年3月で満20周年を迎えました。この20年間一度も休講することなく、ここまで楽しく続けてこられたのは何故でしょ

うか？後述の「新聞クラスの魅力は？」との問いかけに対する受講生皆さんの感想を読んでもいただければ、それが自ずと分かるのではないのでしょうか。一回ごとの教材を皆で検討しながら読み解く楽しさ！皆さんの経験が語られ、自分の殻を出てより世界が広がる喜び！そして20年という時を経て、歴史の流れをまさに読み解いてきたという感動！そして20年間教室が無事に運営されてきたのは、昨年10月10日に亡くなられた中村瑛子さんの素晴らしいサポートのお陰です。クラス開始時から20年間、教室運営が円滑に進むよう尽力してくださいました。瑛子さん有難う！



「新聞」クラスの魅力は？

●自由闊達で家族的授業の雰囲気と、これを醸成する知的で高度な教材（満尾）●知的趣味は順境では教養、逆境では心の支え。知的な先生と多彩な仲間、最高のクラス！（高橋）●西語圏諸国の最新記事を読み、内容と共に記者の気持ちや癖まで伝わり楽しんでいます（山崎）●スペイン好きが連綿と続けて来た、まさに継続は力なりの結晶（石井）●スペイン・ヨーロッパからラテンアメリカへ、王様・政治家・革命家までをたどる旅をしました（松本）●ユーモア、熱意、きめ細やかな先生の説明に、毎回満足感と充実感を感じ学習意欲がわきます（溝口）●時宜を得た教材と円滑な運営*先生の懇切かつフランクなご指導で、生徒も自由に討論（近藤）●多くの分野にわたるスペインの考え方がわかる授業と、明るく楽しい先生のお人柄（浅里）●先生の素敵なお人柄とご指導の下、世界のホットなトピックを読み解いて行く楽しさ！（西村）●言葉と共にスペインや関係国について深く学べる。その国の事情に通じている気になる位（中西）●明るい雰囲気と、今特に気になるスペイン語圏の話題を取り上げ、その様相が良くわかる!!（伊久美）●難解な原文にもクラスのみんなが挑み、考え、乗り越えていくのが一番の魅力だと思います（関）

後記：本年4月から9月まで講師の特別休暇期間とさせていただき、受講生の自主運営となります。10月から通常講座に戻ります。（新聞・雑誌を読むクラス講師 栗山由美子）



*第10回スペイン語クラス委員会 3月13日（月）開催

県民センター向かいTSプラザビルの中華料理「煌蘭」で第10回クラス委員会を今期末退任のカルメン講師と後任のビクトル講師の歓送迎会を兼ねて開催。出席者は福長理事、講師、顧問、委員など合計16名。福長理事による今期事業計画と実際の評価からスタート。現生徒数は8クラス合計90名で経営収支面は安定的に推移。課題は増える受講者数に対する教室確保、新規受講生から要望の多い入門クラスの新設検討など。これら課題に対応するためには再編をも視野に入れた施策展開が必要かつ、高いスペイン語力を醸成できる講義の充実と講師手配など。クラス別状況報告では熱意に溢れた報告が多数あり。最後に、会員相互間で切磋琢磨し、語学力はもとより本国を中心にスペイン語圏諸国の歴史・文化などを学んで行こうとの決意表明が出たところで大団円。出席者の皆様お疲れ様でした。（セレソクラス委員 中田博久）



これら課題に対応するためには再編をも視野に入れた施策展開が必要かつ、高いスペイン語力を醸成できる講義の充実と講師手配など。クラス別状況報告では熱意に溢れた報告が多数あり。最後に、会員相互間で切磋琢磨し、語学力はもとより本国を中心にスペイン語圏諸国の歴史・文化などを学んで行こうとの決意表明が出たところで大団円。出席者の皆様お疲れ様でした。（セレソクラス委員 中田博久）

>>スペイン語講師とクラス委員の皆さん<<

●サークル「CLUB2020」 ～分科会活動スタート～

これまで数回にわたり CLUB2020 の活動内容をお伝えしてきましたが、3月より月1度の例会に加え、分科会もスタートします。参加者は、たとえば「横浜案内のルートを考える」「神奈川県や横浜市のボランティアガイドを調査する」「日本のしきたりをスペイン語で伝える」「ガイドブックを作る」などから興味のあるテーマを選び、グループでの学習や資料作りを進めます。各グループの活動は CLUB2020 内での報告会を通じ情報共有していきます。また5月には昨年好評だった課外活動で、三溪園めぐりを予定しています。ところでサークル名の由来をご存知ですか？ 3年後のオリンピックイヤーにかけているのはもちろんのこと、スペイン語の「20・20 (ベインテ・ベインテ)」と「おいでおいで (ベンテ・ベンテ)」の音をかけています。な～んて、私だけがそう思ってるんでしょうけどね…。(CLUB2020 講師・山田るり子)

活動日；毎月第1,3火曜日 10:30～12:30

お問い合わせ先:aiyes.supeingo.kurasu@gmail.com

2017 年度前期スペイン語教室

～～ 前期講座は4月3日(月)から始まります ～～

創立27周年を迎える横浜スペイン協会が運営する歴史あるスペイン語教室です。

当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなく、スペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

《受講申込み受講費他》

*各教室定員は、原則として15名。空席のある場合は会員優先で随時入会可。入会金不要

*受講料：各教室 ¥1,500/回 半期分前納(前期15回、後期18回)。

事務費2000円(各期ごと) 横浜スペイン協会員は無料。

*使用言語：スペイン人講師は、日本語も堪能ですが、教室では生きたスペイン語が中心です。

*お問い合わせ、お申し込み先：下記のメールアドレスにご連絡をお願い致します。

E-mail アドレス：aiyes.supeingo.kurasu@gmail.com

横浜海岸通り教室

横浜海岸通教室 教室の所在地：神奈川県横浜市中区海岸通り1-1 波止場会館(横浜市港湾労働会館) TEL: 045-201-3842		講義内容	
クラス名(レベル)			
新聞、雑誌を読むクラス上級	2017年度前期は講師の都合により受講者による自主活動を行います。	授業日	第4土曜日 10:15～10:45
教材はEl País等を使用します。	後期からは通常講座に戻ります。	講師	栗山由美子先生
		教科書	スペインの新聞・"El País"の記事を使用。
		講座内容	スペインとラテンアメリカ情勢を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。(討論は日本語で行われます。)記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。
		受講料	¥2,000/回(テキスト代その他を含む) 今期は自主運営の為、会場費を参加者で負担、受講料は無料 見学自由。

横浜駅西口教室

横浜西口教室
 教室の所在地: 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
 かながわ県民サポートセンター TEL 045-311-1121

	クラス名	(レベル)		講座内容
1	「ハスミン」	(入門)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 山田るり子先生 「Entre Amigos 2」 直接法現在の学習が終わり、テキスト「Entre Amigos 2」で直接法過去以降の文法を学習します。並行して簡単な会話の練習も行います。 ¥1,500/回
2	「アマポーラ」	(初級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 10:30～12:00 山田るり子先生 講師作成のオリジナルテキスト スペイン語のコラム 直接法点過去以降の文法をオリジナルテキストで学習します。 また、スペインの文化や歴史に関する短いコラムで読解力を付けます。 これらを交互に進めていきます。 ¥1,500/回
3	「カメラリア」	(中級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 ビクトル講師 (Prof.Victor Pérez バルセロナ出身) 第1週,第2週 文法「Español en Marcha」-3 第3週 小説 前期から新小説 (本は未定) 接続法の文法とそれを使用した会話を勉強中です。 ¥1,500/回 授業はスペイン語で行われます。
4	「クラベル」	(中級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3水曜日 13:00～14:30 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 「Ele actual」 B1, 「Soldados de salamina」 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指します。 第1,2水曜 「Ele Actual」(B1) 練習問題のプリント 第3水曜 近況報告等をスペイン語で発表, Cuento「Soldados de Salamina」読みます。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
5	「ビオレタ」	(中・上級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3水曜日10:30～12:00 ベゴニャ先生(Profesora Begoña González マドリッド出身) [Tema a tema] B1 (Edelsa社) 現在のスペイン及び中南米について学びます。テキストのテーマに沿って[例えば健康、映画など]会話中心の授業を展開し、幅広い知識が得られます。 授業はすべてスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
6	「ヒラソル」	(中・上級)	授業日 講師 講座内容 受講料	第1・2・3水曜日 10:30～12:00 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 第1水曜日 スペイン語映画鑑賞、聴く力を付け シナリオを使用して理解を深めます。 前期から「Los girasoles ciegos」を勉強します。 第2,3水曜日は「Cartas de amor de un sexagenario valuptuoso」を購読しています。 65歳の男性の恋文だけで構成されている異色の小説ですが人間の内面を語る愛と孤独の物語でもあり読み応えのある教材です。難解な文章を講師の丁寧な指導により読み進めています。 授業は全てスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
7	「セレソ」	(入門・初めてのスペイン語)	授業日 講師 講座内容 受講料	初めてスペイン語を学習する方も楽しく参加できるクラスです。 第1,2,3木曜日 10:15～11:45 山田るり子先生 「サヨナラ、棒読みスペイン語」 「Entre amigos 1」 講師編集による「サヨナラ、棒読みスペイン語」は現在時制を主とした実践に使える会話テキストです。これまで学習したスペイン語の基礎固めと爆発的な語彙力&表現力アップを狙います。副教材の「Entre Amigos」は点過去まで進んでいます。 ¥1,500/回

●スペイン・サロン

「スペイン歴史散歩—記憶の場を探訪する」

講師：立石博高 東京外国語大学長 2017.3.4 於県民センター



講師の立石先生は東京外国語大学外国語学部スペイン語科を卒業され、専攻は西洋史、スペイン地域研究の視点から、国の歴史(この場合はスペイン国)の見方として歴史の事実(ファクト)とその記録の書かれた国家の意図とがあることを読み取らねばならないと最初に述べられた。イベリア半島は歴史的経過の中で多様な民族と文化を受け入れてきたが、様々な人間と文明が入込み、対立しあった諸地域を「スペイン」へと纏め上げた歴史の経過の一つが「帝国」と「カトリック」を高揚することであった。この単一的な国民アイデンティティ形成のために作られようとした歴史スポット「記憶の場」を1940年代に使われた教科書“Yo soy español”の中で取り上げられた20の場所、英雄、聖人、国王、作家、画家、ルコンキスタ、戦勝、大学、アメリカの発見、そしてファランフェ党からフランコ国家元首の時代に亘るまでのスポットを探訪しつつ検証するセミナーであった。(山崎宗城)

先日のスペイン・サロンについては、大変盛況な中、初めて参加することができ、大変有意義なひと時を皆様と過ごすことができました。私は、もともと中国語畑にいた人間で、スペイン語は学習4年目です。昨年2月、念願かなって、初めてスペインへ旅行しました。立石学長のお話は、20の言葉にある歴史的視点の転換の話でしたが、事前に著書を拝読しておらず、他の諸先輩のようにスペインに造詣が深くなかったため、言葉の元々の意味をパソコンで追いかけてながら拝聴致しました。内容としては、とても興味深いものでしたが、初心者向けには簡単な解説など添えて頂けたら、理解がより十分深まったかと思いました。立石学長、出張直前のご多忙中、このような貴重なお話の機会賜り、とても感謝しております。次回の講義を楽しみにしております。(小池勇)



●旅でスペインを識ろう会

入会後初めての[旅の会]で12月に開催された[スペイン・旅の企画]に参加出来なかったので、1月16日に開催された今回の発表会を楽しみに参加しました。前半の巡礼の旅の達人、問屋正勝様によるスペイン北部の旅のお話は、昨年10月に参加した[サンチャゴ巡礼路10,000kmを歩いて]同様、動画を中心に興味深いお話で、いつかは自分でも歩いてみたいなという気持ちを抱きました。後半の山田先生中心の[イザベル女王の足跡をたどって]の発表は、訪問地の歴史的な背景を深く掘り下げた発表で、私自身、最初から実際の体験談であるかのような錯覚に陥り、最後まで興味深く聞かせて頂きました。(原健三郎)



●シネマサロン

ミューズ・アカデミー (La Academia de las Musas)

監督・José Luis Guerin 2015年、スペイン

バルセロナ大学のある教室で、イタリア人のピント教授の「ミューズ・アカデミー」が開講する。芸術にインスピレーションを与える女性の存在：現代のミューズ像を探る授業である。生徒には若い女性が多いが、男性も年配の女性もチラホラ。詩を通じて世界を再生させようとする画期的な授業のはずだった。勢いのいいスペイン語、イタリア語、カタルーニャ語が飛び交う。「ミューズ、それは男に賞賛の気持ちを抱かせることができる女性たちの姿だ。」と教授。知的でユーモラス、エロティックな論議が時には失笑や共感も誘うが、やがて教授の芸術論に熱心に質問をする数人の女生徒たちとの恋愛へと発展してしまう。バルセロナの街中で、イタリアの遺跡や野原、ブドウ畑やオリーブ畑で、彼らのミューズ論議の形をした恋愛の場面が延々と続く。教授の妻は夫のミューズ論を否定し、嫉妬に苦しむ。彼女に近づいてきたひとりの女性に言う言葉が夫の芸術論を見破っているようだ。「夫に新しい恋人ができるたびに、彼は本の位置を変えるのよ。」その前の場面で彼が自分の部屋に大きな書架を運びこませて、忙しそうにしていました。フィクションとドキュメンタリーを行き来するような不思議な作風でした（松本益代）



●マドリッド便り ～ スペイン歴史探訪

<イサベル女王について>



1451年カステリア王フアン二世と後妻ポルトガル王女イサベルとの間に誕生。フアン二世の最初の王妃との間で生まれたエンリケが王位継承、カステリア王子として存在していた爲イサベルは単なる王女であった。フアン二世の死後、エンリケ四世がカステリア王となりその後エンリケ王の娘フアナを支持する貴族とイサベル支持派が対立し、内戦が勃発最終的にイサベル支持派の勝利でイサベル1世が誕生する。

女王は15世紀後半イベリア半島を800年間近く支配していたイスラム王国の最後の砦グラナダの開城や、アメリカ大陸発見、ユダヤ人追放またヨーロッパで初のスペイン語文法書を出版するなど、ヨーロッパで名声を挙げた。次女フアナをドイツ皇帝Maximilianの子息Philip王子と婚約させ、のちのチャールズ大帝兼スペイン国王が孫として誕生当時のヨーロッパを支配した。三女は当時の大国ポルトガル王と結婚、四女はイギリスの国王ヘンリー八世と結婚、スペイン・イギリス・ドイツ帝国の同盟で当時の大国フランスの封じ込めに成功する。またスペイン出身のローマ法王アレキサンダー六世とは親密な関係にあり、アメリカ大陸はスペイン領であることをローマ法王大勅書発布させることに成功している。女王のアメリカ大陸の開拓政策は、原住民であるインディオにスペイン本国民と同じ権利を与え、奴隷として扱うことを禁じており、これは当時の封建社会では考えられない人道的で民主的な政策であった。イングランドが北アメリカの植民地化で、インディアンが全滅するまで徹底的に迫害を加え100%西洋人の社会を築いたそれとは全く反対の植民地化政策であった。スペインのアメリカ植民地政策は、原住民を尊重し同じスペイン国籍を与え言語宗教を与え、さらに建築技術や農業を導入し共存社会を築いている。今日中南米の都市にある大聖堂や教会のみならず公共の建物や街並みは、当時スペインによって建てられ今日に至っている。今日中南米諸国が存在するのは、このイサベル女王の人道主義が代々尊重されたお蔭と言える。(鈴木裕)

第5回 さくら植樹友好親善ミッション募集

横浜スペイン協会
会長 下山利明

会員各位、

一昨年、9月にスペインレオン県 Bierzo 地方 Priaranza と Canedo にて第4回さくら植樹と文化交流を実施致しました。本年も、9月20日・21日の2日間、同地域近郊にて第5回さくら植樹と文化交流を計画しております。つきましては、原則として、当協会設立趣旨の基本であります「さくら植樹を通じたスペインとの国際交流」にご賛同とご理解を頂いております会員を中心に参加者を募集致します。

記

【日時】：2017年9月20日（水）、21日（木）の2日間

【訪問先】：スペインレオン県 Bierzo 地方周辺

【スケジュール】（案）：

2017年9月19日（火） 夕方、Ponferada 駅周辺ホテル集合

20日（水） 歓迎会 先回植樹した2ヶ所訪問、追加植樹

ボデガ見学（Placio de Canedo）文化交流・懇親夕食会

21日（木） 植樹（新しい場所）日本文化紹介・巡礼路散策、近郊観光

22日（金） AM 解散

※詳細については、現地とこれから詰めます。

前回、現地でアレンジして頂いた Priaranza 市長の José Manuel Blanco 氏と協議中

【応募要領】

- ① 参加希望者は4月10日（月）までに実行委員の臼井理事へ連絡してください。

連絡先：shinano535@yahoo.co.jp 090-9810-2495 又は info@yokohama-spain.jp

※まだ半年先ではありますが現地ホテルの部屋確保が困難な状況です。

まずは参加人数の確認を早々に行いますので、参加希望の意志表示をお願い致します。

- ② さくら植樹と文化交流公式行事は20-21日の2日間で、この期間は参加者全員で一緒に行動します。2日間の移動手段は実行委員が手配いたします。ホテルは日程を考慮して推奨ホテルを提示いたします。

※基本は、現地集合・現地解散です。（19日（火）夕方、集合、22日（金）AM解散）

航空券、ホテルの手配は各自でお願いいたします。

- ③ 旅行費用（航空券代、宿泊費、交通費、食費その他費用）は個人負担です。

以上



協会からのお知らせ

① 平成 29 年定時総会のご案内

日時 : 2017 年 5 月 14 日 (日) PM 13:15~14:45 (予定)

会場 : 県民活動サポートセンター 302 号室

別途はがきにてご案内状を発送しますので、出欠のご返事をお願いします。

総会終了後、会員間の交流も兼ねた簡単な懇親会を設けます。多数のご参加お待ちしております。

② 年会費お振込みのお願い

平成 29 年度会費を下記要領にてお振込みのほどよろしくお願いいたします。

1. 年会費 会員 3,000 円 賛助会員 10,000 円

2. 振込先 みずほ銀行 鶴見支店 (店番号 362)

普通預金 口座番号 2518340

口座名義 横浜スペイン協会

3. 振込期限 平成 29 年 3 月 31 日

《注意事項》

— 振込依頼票は同封しておりません。(従来 of 依頼票は使用不可)

— 誠に恐縮ではございますが振込手数料は会員様にてご負担をお願い致します。

2016 年度も会員皆様のご支援ご協力により、多彩な行事を執り行う事が出来ました。

この紙面を借りて御礼申し上げます。また、新年親睦パーティーも多数の方にご参加いただき、賑やかで楽しいイベントになりました。特に、フラメンコを踊っていただいた北見淳子様、琴の演奏をしていただいた池田昭一様ありがとうございました。

《 次回のスペイン・サロン 》

日時 : 2017 年 6 月 17 日 (土) 13:30~15:30

会場 : 波止場会館 1 階 多目的ホール

演者 : 吉田彩子 (清泉女子大学教授)

演題 : 「ドン・キホーテ」に見る黄金世紀のマイノリティ: ユダヤ人、モリスコ、ヒターノ、黒人、山賊

※ 詳しくは、近日中にホームページ、チラシでお知らせいたします。

★意外に知られていない会長の動向

2016 年 12 月 15 日 名古屋スペイン協会懇親会出席 於: 名古屋名鉄グランドホテル

2017 年 1 月 6 日~11 日 スペイン訪問~現地の会員 2 名と交流 (バルセロナ・マドリッド)

2017 年 3 月 9 日~15 日 スペイン訪問~レニャ元大使ご夫妻と再会 (マドリッド)

2017 年 4 月 6 日 (予定) スペイン国王王妃両殿下 謁見の義 参列 於: 帝国ホテル

新会員紹介

岩田 岳久 (Takehisa Iwata) 横浜市港南区在住 2017年1月入会

スペインは、1986年から1992年の6年間、マドリッドとバルセロナで勤務した経験から第二の母国となりました。昨年退職し、再度スペイン語とその素晴らしい文化に触れたいと思い入会を希望しました。

飯島 隆介 (Ryuusuke Iijima) 横浜市栄区在住 2017年4月入会

以前からスペインの歴史、文化に興味がありました。下山様よりお誘い頂き昨年10月、今年3月の講演会に参加したところ、その深さにより一層魅力を感じました。是非現地を旅してみたいと思いい入会を希望いたしました。



<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
アトリエ フレア Atlier Flair	鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F	0467-42-8531	押し花体験費用割引
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ダイアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

<編集後記> 世界三大花粉症というものを初めて知りました。日本のスギ、ヨーロッパのイネ、アメリカのブタクサだそうです。スペインでは4.5.6月がイネ科の植物の花粉飛翔時期らしいです。とはいってもスペインは広いし、イネ科の植物の花粉はスギ花粉ほど遠くまで飛んでこないのではないのでしょうか？都会では大丈夫そうなイメージです。田舎を旅する際は要注意かもしれませんね。¡¡¡¡¡ (編集長・AS)

編集長 / 下山綾子

編集委員 / 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 福長昭代

* 投稿寄稿宛先
横浜スペイン協会

E-mail : info@yokohama-spain.jp
ホームページ : <http://www.yokohama-spain.jp/>

次回の原稿締切は
6月10日(土)です